

議 事 録

- 1 会議名 平成30年度第1回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議
- 2 日 時 平成30年11月7日(水) 15時00分～17時00分
- 3 場 所 さぬき市役所 3階 302会議室
- 4 出席者 (委員)
尾崎委員 長山委員 村岡委員 圓尾委員 柏原委員 長谷委員
(市)
大山市長
向井総務部長 総務部政策課 谷課長 大生課長補佐 多田副主幹
- 5 傍 聴 0名
- 6 会議次第 1 開会
2 市長挨拶
3 自己紹介
4 議事
(1) 座長・副座長の選任について
(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査について
(3) 今後のスケジュールについて
(4) その他
5 事務連絡
6 閉会
- 7 配布資料 ○さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿
○さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議進捗状況調査結果
○さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議進捗状況一覧
○スケジュール案

8 議事の経過及び発言要旨

＜ 開 会 ＞ (15 : 00)	
事務局	＜挨拶＞
事務局	＜市長による委嘱状の交付＞ 大塚委員と鈴木委員については、本日欠席であることをご報告させていただきます。 また、本会議については、市条例等に基づき公開することを御了承ください。
全委員	＜了解＞
事務局	それでは、この会議は公開することとします。 ＜傍聴者なし＞

事務局	只今から、平成30年度第1回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催します。開会にあたり、さぬき市長 大山茂樹よりご挨拶を申し上げます。
市長	<挨拶>
事務局	委員の皆様は今回が初顔合わせとなりますので、簡単に自己紹介をお願いします。
各委員	<自己紹介>
事務局	<事務局紹介> ※公務のため市長退席
事務局	それでは議事に入ります。議題1「座長と副座長の選任について」。 有識者会議設置要綱第5条第2項の規定では、座長は委員の互選により定めることとなっていますが、どういたしましょうか。
委員	<意見なし>
事務局	特にご意見がなければ、事務局の案を申し上げます。 事務局としては、長山委員に座長をお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。
委員	<異議なし>
事務局	それでは、座長を長山委員にお願いします。 また、副座長は、要綱第5条第4項において、あらかじめ座長が指名する委員がその職務を代理する、とありますので、座長に副座長を指名いただきたいと思います。 長山座長、いかがいたしましょうか。
座長	地方創生は官民連携が重要であることから、本日もご欠席ではありますが、本市の事務事業にも詳しい鈴木委員をお願いしたいと思います。
委員	<異議なし>
事務局	座長の座席移動のため、暫時休憩とします。 <休憩>
事務局	会議を再開します。正副座長を代表して、長山座長に挨拶をお願いします。
座長	<挨拶>
事務局	これからの進行は座長にお願いいたします。
座長	わかりました。本日の会議ですが、17時00分を目途に終了したいので議事進行にご協力をお願いします。 それでは、会議次第に基づき議事を進行します。議題2「まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査について」事務局から説明をお願いします。

事務局	<説明>
座長	ご質問等ありますでしょうか。
委員	たくさん戦略があるのですが、「特に力を入れているもの」はあるのでしょうか。力が分散してどれも達成できないというより、力を入れるものがあつたほうが、結果として出るのではないかと思います。
事務局	おっしゃる通り68項目あります。大前提に「人口減少対策」というものがありますので、それに直接的につながる「KPI」が重要だと思うのですが、市としては、関係各課担当部署が、それぞれ一生懸命取り組んでいます。
事務局	さぬき市全体の市の方向性を示す「総合計画」というものがあり、その中の「人口減少対策」の1つの重点プロジェクトとして、この「総合戦略」も位置付けられている。その中で「4つの基本目標の柱」を設けており、全体の中でも重要な項目として取り上げている。その進捗状況を見るのに「KPI」を設定しています。過去にも有識者会議の場で、「何かの分野に特化して」という意見をいただいたことがあります。各分野を進めていかなければいけない中で、どれを優先に進めるというのは難しいところがあります。4つの柱そのものが、特化しているという位置づけで進めていくとお考えいただきたい。ご意見はどんどんいただいて、反映できるところは反映していきたいと思っています。
委員	最終目標としては、「人口減少」に歯止めをかけ、「人口増加」につなげることが1番大きな目標と考えたらいいですか。
事務局	「人口減少」に歯止めをかけることと、人口減少社会の中でも、まちに愛着を持ち、生活満足度を高めながら生活していけるまちづくりが目標かと思います。
委員	「なにに特化するか」も非常に大事であるが、「どういう順番ですか」が大事であると思います。「これとこれをして、上手くいったら結果としてどういう財源が生まれるから、次これとこれをする」というような形で。市民サービスなので、これはいいがこれは切り捨てるという話にはなかなかならないと思うのですが、要は順番の問題です。万遍なく予算をかけても特徴がないものになると思います。 一つの例として、4～5年前に行ったところで、バーベキューをするところが駅前なのにすごく流行っていた。隣のスーパーで食材が何でも買えるというメリットがあった。要は考え方です。風光明媚な山奥や海が見えるところから発想を変え、スーパーの横の空き地でバーベキューができるようにすれば、さぬき市も利用者はたくさんいるかもしれない。市民の声をもっと聞くべきである。坂出市民病院がなぜ再生したのか。「小児科医のこれという人を引っ張ってきたから」です。最低ラインのサービスは確保しないとイケないが、何か1つ「この科」というものがあると、「他の科も受診しましょう」となる。財源は限られているので、もう一工夫加えるという視点が何なのか、また、順番をどうするかということです。常に均等割りにして同時並行に進むということは、特徴のないものになってしまうかもしれない。財源を抑えたときに、「この課は放ったらかしなのか」という議論が出てくるが、「先にこれをするので、もう1年2年お待ちください」と説明をする。先にするものについては、行政がなんとか実のあるものにする。

	<p>以前、「子ども（学生）の数を増やす」という「KPI」をつけている部局があった。どうやって増やすのか質問したら、出生率を上げるという回答であった。関係している部局（移住）が連動していないといけない。「これから小学校に入学を控えている世代」にターゲットをあてる。これも順番で、財源配分もいろいろあり、絞ってくると「老後をゆっくり過ごしたい年代」、「リフォームにお金を出せば反応する世代」、「教育費を熱くすれば反応する世代」もある。もう少し的を絞り、もっと政策課がコーディネーターとしての役割を担わなければいけないと思います。</p>
座長	<p>「KPI」の重要度と体系の話ですが、「KPI」そのものも形式的な系列になりますよね。「4つの基本目標」があって、その下にカテゴリーがあり、その下に「KPI」が分属している。一応強弱はあると思いますが、全部並列している。今日お配りした資料「基本目標」（A4版）について、これは数値目標ですが、「KPI」より上位にあると理解してよろしいでしょうか。例えばここに「年間出生数」があり、「基本目標」1の目標指標に該当するものだと思うのですが、上位の目標ですよね。これは「KPI」ではないですよね。</p>
事務局	<p>「KPI」扱いにはなっていません。</p>
座長	<p>「総合計画」の「基本目標」に載っているものは、上位目標に入れますよね。赤ちゃんが生まれるためには、いろいろな方法がある。それは「保育所の整備」や「放課後児童クラブ」、「不妊治療」かもしれない。細かい「KPI」は原課ごとに立っているのですが、どれか、もしくは全部破棄して、「年間出生数」があるというこのタイプならわかりやすい。「働く場をつくる」という基本目標のところに「観光地入込客数」があるが、農業と直接関係あるかということ、これは観光部門に関係がある。上位目標が8つあるが、面白いと思うものと、一般的なものがある。上位目標に対して影響のある「KPI」とあまり影響ない「KPI」があるわけですが、大きな組織だから、「みんな役にたっていますという建前」と、でも「ほんとはこれが重要です」というものがあると思う。内部で働いている職員は、自分が立てた「KPI」が重要でないということはわかると思うが、住民や外部の方に、この計画からは、はっきりとわからない。重要な「KPI」とは選別した方がいいし、重要な「KPI」に関する事務事業には、予算をたくさんつけるべきですよね。ただその切り分けは、全体の体系を見たところできていないし、難しいのだと思いました。「8つの基本目標」と細かい原課ごとに立てられた「KPI」が、どれがどれに結びついているかはっきり明示されているわけではなく、例え明示されたとしても難しい。大きな基本目標については、達成できたかどうかや何%達成できたかわかってしまう。ただ、どの事務事業が悪くて達成できなかったという責任関係はわからない。</p>
座長	<p>他にご意見はありませんか。</p>
委員	<p>「ふるさと納税」は桁が違う、ゼロが1つ足りませんよね。それとP17、18に地元の農業振興とあるが、ミニトマトやぶどうや桃を返礼品とすれば、美味しければPRになるし、リピーターも出てくる。連携がどこまでできているのか、よくわからない。何月限定という季節感のあるものを、もう少し前面に押し出せば、「農業振興事業」や「ふるさと納税」は上手く連携し、今の目標数値より2倍か3倍になって然るべきなのかなと思います。</p>
座長	<p>「ふるさと納税」は「地域資源の活用」のところにも記載されていて、返礼品に使うからという意味から入っていると思うが、使用目的を「子育て支援」に使います、</p>

	<p>「こういったお礼をします」とすれば、集めたお金を「子育て支援」に回せる。厳密に言えば「働く場をつくる」というところに入っている「地元産品を使うふるさと納税制度」も、「子育て支援」に関連させようとしたら関連させることができる。「これの後にこれを行ったらこういう効果生まれる」という順番、隣によい影響を与えるのであれば、それを遮断する必要はないので、基本目標の相手同士を行きかうような好影響というのは、上手くいけば出るし、計画としてはよい。民間企業であればそうすると思います。</p>
委員	<p>寄附したら、「イベントのお手伝いができます」というものでも、お金を出す人はいらっしやる。「イベントに主体的に参加できる権利」や「ラジオのパーソナリティ体験」、「洒落た民泊に泊まり、地元産品でおもてなし」、あるいは水産業の方には迷惑かもしれないが、「一緒に船に乗って漁の体験」など。実はそういったものに反応する世の中です。どういった物を返礼品の中身とするのかということも議論しても、それだけでも値打ちがあるような気がします。確かに反対の意見もあるかもしれないが、究極の「人口減少対策」として進め、ハードルを越えられないと結果的に人口が減少し、市として成り立たない。市民の納得を得ながら十分議論すべきだと思います。年間20万人しか来場者のいなかった「はままつフラワーパーク」を、来場者120万人までに再建した方がいらっしやる。花畑一面を埋め尽くし、料金を花の旬に合わせて1,000円台から無料までに設定し、参加型のイベントも行った。行政に料金変動制を反対されたが、入場者100万人を越え財源ができると他にもお金がかけられ、エレベーターを付け、バリアフリーにするなどしたら、来場者の幅も広がる。お金をかけてみるというところも必要なのではないのでしょうか。</p>
座長	<p>去年の会議の意見書をみると、各基本目標につき3つくらいしかコメントをつけていない。「KPI」は凄いい数あるが、重要だと思う人もあればそうでない人もいる。この会議は「KPI」を万遍なく作るというのが趣旨ではない。補助金が出た後に自分たちで走らせる期間が始まるわけですが、この「KPI」は残した方がいい、主要目標に掲げてもいいというものがあるのであれば、それについて、アイデアや改善点があるものを絞り、去年のように各基本目標につき3つか4つぐらい意見を募って報告書にした方がいい。重要な「KPI」に絞って議論したらいいのではないのでしょうか。先程も出たように、関係性や順番も重要だと思うので、その辺りも話しながら報告書を作れたらと思います。皆さんが関心を持ったものにコメントをつけてください。なるべく住民の目線をお願いします。</p> <p>今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><説明></p>
座長	<p>最終的に、昨年と同じように前書きに討論部分があって、個別指標についてコメントが必要なものを作るのですが、例えば「働く場をつくる」であれば、昨年度は3つしか「KPI」を取り上げておらず、「中小企業経営に対する支援」、「オリーブ栽培面積」、「さぬき市ホームページトップページアクセス数」についてそれぞれコメントが付いています。もちろんここには他にも重要なことがあり、先程も出ましたように、「ふるさと納税制度のまちづくり寄附金」が入っています。なぜここに入っているかというと、返礼品に地元産品を使うから入れたのだと思います。重要であって、こういうふうにしたらいいいというものがある場合、ここに1項目立てる。「そもそもの目標が低すぎるのではないか」という意見でもいいし、やり方でもいい。「子育て支援」であれば、例えば「放課後児童クラブはこういう改正の方が喜ばれるのでは」という、詳しい方には詳しいなりのアイデアや、「市民が困っているところが分かっていない</p>

	<p>のではないか」という意見など。それが、われわれが重要と考えるもので、去年であれば12個あがっています。たくさんある「KPI」の中で、われわれが重要と考えるものなので、完全に平等ではない。有識者会議なので、ある程度の偏りは構わない。皆さんが詳しい、関心がある、重要であると考えているものについてコメントをいただきたい。集約して、次回それについて意見交換し、更によりアイデアが出るかもしれないし、その場で足していただいても構わない。整理もあるので、事前に出していただくと事務局は助かります。次回は12月に会を開きたいという事務局の案です。Eメールアドレスは全員わかりますか。</p>
事務局	<p>後で確認したいと思います。</p>
座長	<p>メールでも紙媒体でもかまいません。</p>
事務局	<p>様式が「KPI」を中心に記入するようになっているのですが、もう少し大局的なところから総合戦略のことや、去年の意見書にあるような総括的な意見や感想でも構いません。様式は問いませんので、これ以外のご意見を寄せていただいてもいいです。</p>
座長	<p>「欄外」に「その他」で記入いただいても構いません。特段「KPI」に立っていないことでも、例えば「子育て支援では、ピントがずれているのではないか」や「ほんとはこういうことをしたほうがいいのではないか」、「さぬき市全体の市政」や「こういう視点が重要なのでは」など意見があれば寄せてください。われわれで話し合った上で、全体の方向性に加えたいと思います。次回そういう大きな話を少しした方がいいので、皆さんよろしく願います。寄せていただく意見は、「KPI」のような小さな指標に関するものに限らない。より大きな基本目標に関係すること、もっと大きな施策全般に関する事でも構いません。</p>
	<p>< 日程調整 ></p>
事務局	<p>事前に連絡させていただきます。</p>
座長	<p>以上で第1回目の有識者会議を終了します。</p>

< 閉 会 > (17:00)